

こ ん に ち は、 小 川 あ き ら で す。

き ら き ら 通 信

新春号

2023.1月

議会報告

決算特別委員会

リベラル群馬 知事要望

子育て・障がい者に関する
特別委員会・県外調査

豆知識

選挙区等の検討を続けています！

群馬県障害者芸術文化活動支援モデル事業
[take the first step 障害者芸術活動支援プログラム]

メッセージ動画
があります。
是非ご覧ください。



※撮影時のみマスクを外しています。

群馬県議会議員 リベラル群馬





誰もが自分らしく 輝ける社会へ

ご挨拶 2023年新春

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お正月にはたくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらからお返しできないのが残念です。

去年は、長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻で深刻化した原油・エネルギー価格の上昇、さらには円安の影響で、私たちの暮らしも地方経済も大きな打撃を受けた一年でした。同時に、コロナ禍で明らかになったセーフティーネットの脆弱性や格差と貧困の拡大をはじめ、医療の確保、子育てや福祉政策の充実、働き方改革、食と農の問題、コロナ禍の先を見据えた地方の在り方など、群馬県が抱える様々な課題が見えてきた一年でした。

少子高齢・人口減少社会を迎え、地方の財政も厳しい中、「あれもこれも」ができる時代ではありません。何を優先して、何を我慢しなければいけないのか。平和で美しい世界を未来に繋いでいくには、どうしたらいいのか。困難な時代を一步一步前に進めていくには、私たち一人ひとりがしっかり考えて、行動する必要があります。

今年は統一地方選挙も控えています。昨今の選挙では投票率の低下が問題視されていますが、嘆いても、批判をしても何も変わりません。私たちの意思に基づく行動こそが、1票を投じることが政治を変える原点になります。

未来を描くのは私たち。2023年も、多くの人と手をつなぎ、希望を描き未来を創っていききたいと思います。

議会報告

令和4年第3回定例会が、9月20日(火曜日)から12月14日(水曜日)までの86日間の会期で開かれました。

前期では、原油価格・物価高騰対策や県民広場の再整備、MaaS社会実装支援、豚熱対策など256億円の補正予算、G7デジタル技術大臣会合の開催準備に関する5400万円の追加補正予算などを可決しました。

後期では、新型コロナウイルス感染症が発生した介護施設等のかかりまし経費の補助やG7デジタル技術大臣会合警備費用、きのこ生産と県産ブランドニジマス養殖に対する価格高騰対策支援、ぐんまちゃん家の原状回復費用、豚熱対策など、約275億円の追加補正予算などを可決しました。

また、交通安全施設整備の財源確保に関する意見書と少人数学級拡充・教職員定数改善に関する意見書、小児医療センターの方向性の早期結論を求める決議を全会一致で可決。小児医療センターについては、私が県議になった頃から10年

以上検討が続けているにもかかわらず具体的な結論が出ていない課題です。膨大な予算が必要になることはもちろんですが、総合的な周産期医療の充実は母子の命や子育てに関わる最重要の案件なので、早期に結論を出せるよう引き続き後押しをしていきます。



討論より(2022.10.12)

～県庁前モニュメントの撤去は必要なの?～

今議会で唐突に提案された県庁前のモニュメント撤去。県庁前広場を今まで何にも活用してこなかったにもかかわらず、モニュメントが邪魔だというのは納得ができません。

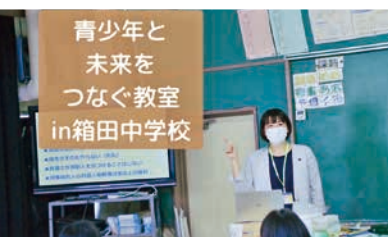
- まずは現状のまま広場を活用してみて、その結果モニュメントの撤去の必要性を判断するべき
(執行部が検討している飲食や交流のイベント、ドッグランショーもeスポーツも現状でも実施可)
- 整備内容の検討も不十分
(芝を張り替えるなら将来のメンテナンス費用はどうなっているのか。芝以外の検討も必要では?)
- 仮に撤去するにしても、スポンサーを集めたりクラファンを実施したり、税金を使わずに実施する方法を検討するべき
といった観点からモニュメントの撤去については反対であることを指摘しました。

討論
(録画配信)



～リトルベビーハンドブックのその後～

6月にLOKAHIリトルベビー群馬の皆さんと意見交換し、早産等によって小さく産まれた赤ちゃんのためのリトルベビーハンドブックの群馬県での導入を後押ししてきましたが、他会派の協力もあって第3回定例会において早速ハンドブックの作成が事業化されました。当事者の声をしっかりと受け止めながら、群馬ならではの素敵なリトルベビーハンドブックが完成することを期待しています。
またLOKAHIリトルベビー群馬の皆さんは県内各地で小さく産まれた赤ちゃんの写真展を開催。多くの人に知ってもらって、みんなで暖かく子どもの成長を見守っていける群馬県にしていきたいですね!



青少年と未来をつなぐ教室



地域ふれ愛販売会



ぐんまフランス祭り



秋元総社歴史まつり



前橋JC卒業例会



熊野神社西の市



新前橋ロータリー祭り



マエバシブックフェス

決算は、予算がどのように使われて、どのような効果をあげたのかを認定する議会の重要な権限の一つです。限られた予算の中で最大限の効果をあげられるように、しっかり検証して、来年度予算に反映させることが大切です。

令和3年度決算の概要



◆決算特別委員会・総務企画常任分科会の現地調査

県庁32階の動画スタジオ「ツルノス」と官民共創スペース「ネツゲン」の利用状況、課題等を調査しました。



◆決算総括質疑

会派を代表して、令和3年度の決算に関連して事業の成果、整備効果、今後の取り組みなどを質しました。



●ぐんまちゃんのブランド化について

➡ぐんまちゃんの関連グッズの2021年売り上げは522億円（前年比76億円増）。目標とする「くまモン」の売り上げは1546億円なので、まだ3分の1くらいとなっています。多額の予算を投入している「ぐんまちゃんアニメ」については、県外におけるアニメ視聴率やキャラクター認知度をしっかりと把握すべきと指摘しました。



【ぐんまちゃんアニメ】
アニメ「ぐんまちゃん」公式サイトより

●パートナーシップ宣誓制度について

(1) 令和3年度の取り組み状況と市町村との連携について
(2) 今後の取り組みやファミリーシップの導入について
➡制度を導入した2020年12月から現在までに30組が宣誓し、利用者からは「公的に関係が証明されてよかった」という声が上がっています。宣誓すると21市町村の県営・市営住宅への入居申し込みが可能になりますが、全市町村との連携を要望しました。

●障害者の自立に向けた取り組みについて

(1) 令和3年度の県内企業の法定雇用率の状況と雇用率達成に向けた支援について
➡令和3年6月1日現在
法定雇用率達成企業割合55.1%
実雇用率6143人、実法定雇用率2.19%
年々増加しているものの民間企業の法定雇用率2.3%は未達成となっています。すでに23の都道府県では法定雇用率を達成しているので、群馬県でも雇用開拓員を増員するなど民間企業に対する更なる支援が必要です！



(2) 令和3年度の工賃向上に向けた取組と実績及び今後の目標について
➡群馬県では、障害者の地域生活や自立を支援するため「第4次群馬県工賃向上計画」を作成し、就労継続支援B型事業所等における工賃向上に取り組んでいます。目標は令和5年度までに月額工賃20000円ですが、令和3年度の実績は17562円にとどまっています。目標達成のためには販路拡大が重要です！共同受注窓口の周知と利用拡大を提案しています。

群馬県内の共同受注窓口はこちら ▼

◆群馬県障害者施設等共同受注窓口
【あったかぐんまのハートネット】

県内全域の事業所にオンラインで注文ができます。会議や研修会参加者のお弁当や、手土産のお菓子、レストランの食材の野菜、ノベルティにもちょうどいい手工芸製品やギフト製品のほか、農作業のお手伝い、清掃、除草、郵便物の封入など、いろんなサービスが勢ぞろい。是非ホームページを覗いてみてくださいね！

あったかぐんまの
ハートネット

<https://gunma-kyodo.jp>



◆前橋福祉ショップ【みんなの店】

前橋市総合福祉会館の中にあるお店で、前橋市内の41の福祉事業所が集って共同販売・共同受注をしています。個性豊かな雑貨やアクセサリ、お米や野菜、パンに焼き菓子など、どれも心がこもっていて丁寧に作られています。私も先日、焼き菓子の詰め合わせを頼んだのですが、とても素敵なギフトにさせていただいて感激♪お近くにお出かけの際は、是非お立ち寄りください。



みんなの店



群馬県防災航空センターにお邪魔し、安全管理体制及び防災ヘリの運航状況について調査しました。

この群馬県防災航空センターは、平成30年8月に発生した県防災ヘリコプターの墜落事故を受けて平成31年4月に設置された機関です。安全管理体制の強化と防災ヘリの運航再開に向けた取り組みを進め、令和2年12月には安全装備品を充実させた新機体を導入。そして令和3年9月からダブルパイロット体制で緊急運航などの活動が再開されました。活動状況を伺うと、運航再開から令和4年7月までの間に39件出動するとともに、自隊訓練のほか近隣県や市町村及び県内消防本部との合同訓練も多数実施しているとのこと。（群馬県内では山岳救助がほとんどですが、水難救助訓練などにもしっかり取り組んでいただいているそうです。）

安全運航のための取り組みでは、ダブルパイロット体制以外にも、危機管理監が主催する毎月の安全運航会議（月命日の10日に開催）、専門家を加えた運航連絡協議会の開催（年2回）、シミュレーターを用いた緊急操作訓練や安全確実な運航を実施するためのCRM（Crew Resource Management）訓練の実施など、8項目に及ぶ安全対策に取り組んでおり、二度と事故を起こさないんだという強い思いが伝わってきます。

危険と隣り合わせの災害救助。県民の生命や身体、財産を守るだけでなく、スタッフの皆さんが安全安心に活動に従事できるようにこれからも応援していきたいですね！
防災航空センターの廊下には防災ヘリの大ファンが描いてくれた素敵なメッセージイラストが飾られています。



リベラル群馬の 知事要望

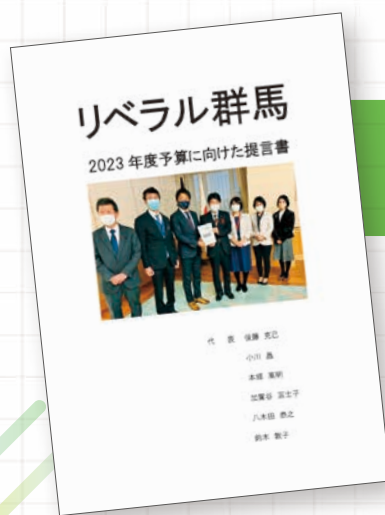


山本知事に2023年度の予算要望書を提出しました！

喫緊の課題のほか、持続可能なまちづくり、公共投資のあり方、人中心の社会・経済・雇用対策、医療・福祉の充実、子育てや教育に関する施策など6分野29項目に絞った提言です。

リベラル群馬は、知事の肝入り事業に対して厳しい立場で指摘したり、女性や子ども、外国人、障害者、性的マイノリティなど社会的弱者に対する県の姿勢や取り組みにも注文をつけることが多い会派ですが、知事からはどれも大事なことだと、目指すところは同じだという前向きな感想をいただきました。

今後も厳しい財政状況が続きますが、良い政策はしっかりとサポートし、そして修正すべきことはしっかりと質していきたいと思います！！



【要望項目】
全文はこちらから



1 最重点項目について ～山本知事に期待すること

- 1 知事の肝いり政策は、成果目標の明確化と丁寧な決定プロセスを 【一部新規】
- 2 手腕の間われるGメッセ群馬 【継続】
- 3 全国一の多文化共生・共創社会の実現を 【一部新規】
- 4 「リトリートの聖地」に向けた本格的な事業展開 【新規】
- 5 県民の期待に応える「危機に強い県庁組織」を 【継続】
- 6 財政健全化は慎重かつ強力に 【継続】

2 誰ひとり取り残さない 医療・福祉で県民幸福度の向上を

- 1 コロナ後遺症及びワクチン後遺症への対応強化 【新規】
- 2 自殺者ゼロを目指すため、SOSをキャッチする体制構築を 【一部新規】
- 3 持続な社会保障 ～群馬モデルの構築を～ 【継続】
- 4 深刻化する「8050問題」に踏み込んだ対策を 【継続】
- 5 認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる群馬を目指して 【新規】
- 6 総合的周産期医療の充実に向けて
～小児医療センターの早期建て替えを～ 【新規】

3 循環型社会に向けて 公共投資の未来志向的転換を

- 1 資源価格・物価高騰に強い産業への転換支援を 【新規】
- 2 エネルギー転換への投資を産業政策の新たな軸に 【一部新規】
- 3 群馬のポテンシャルを活かした持続可能な農業 【新規】
- 4 Web 3による新たな活性化策への投資を 【新規】

4 「人」中心の社会・経済づくり

- 1 移住促進や中小企業の人材確保につながる若者就職支援の取り組みを 【新規】
- 2 幸福度向上に資する働き方改革・働く女性応援を 【継続】
- 3 県民の命を守る道路の安全対策は優先的に 【一部新規】
- 4 地域交通の維持・確保に向けた支援 【新規】

5 子どもの命と未来を守る 群馬づくりを

- 1 児童福祉のさらなる充実 【一部新規】
- 2 不登校やヤングケアラー問題には、さらに踏み込んだ取り組みを 【継続】
- 3 障がいの有無に関わらず全ての児童の人権が尊重される社会の実現 【新規】
- 4 休日部活動の地域移行に向けて、市町村と連携した取り組みを 【新規】
- 5 教育現場の実効ある働き方改革を 【継続】

6 障がい者・マイノリティに優しい県政

- 1 障害者に優しい県政を 【新規】
- 2 貧困に向き合う県政を 【一部新規】
- 3 社会的マイノリティに優しい県政を 【継続】
- 4 包括的な人権条例の制定を 【新規】



【ぐんま女性議員政策会議】 (2022.11.24)

県内の超党派の女性議員で組織する「ぐんま女性議員政策会議」のメンバーで、来年度予算に向けた要望書を知事に提出しました。

女性の視点から、教育、福祉、男女共同参画、喫緊の課題など45項目にしぼった内容です。知事からは「県民生活に密着した具体的な提言としてしっかりと受け止めたい」という前向きな感想と女性議員の活躍に対するエールもいただきました。

まだまだ何かにつけて「女性」という冠がつくことが多いですが、いずれは「女性」という冠がなくなる日を目指して、性別や年齢や国籍にかかわらず誰もが自分らしく活躍できる社会を作っていきたいですね^^



ミニ朝市開催中

『食と健康をつなぐ会』では、昨年8月から、毎月1回程度、古市町公民館でミニ朝市を開催しています。小さな朝市ですが、生産者と消費者が直接つながって、農業や健康のことについて意見交換をしたり、料理のレシピを教えあったり、世間話をしたりと、ちょっとしたコミュニケーションで顔見知りが増えて地域の輪が広がっています。

会話と笑顔があふれる、そんな地域づくりを目指していきたいですね！



1日目 県外調査1日目は、福岡市の【SOS子どもの村JAPAN】にお邪魔して「フォスタリングチェンジ・プログラム」の内容や実施状況について伺いました。

「フォスタリングチェンジ・プログラム」はイギリスで開発された子どもが委託されている里親のための研修プログラムです。

里親登録をする前には基礎研修や認定前研修など学びの機会があるものの、実際に里親になってからは研修が少なく、子どもと養育者の両方のためになる実効性のある支援システムの必要性が指摘されています。

「フォスタリングチェンジ・プログラム」では、週1回3時間×12回(3か月)のセッションを、6人の里親グループで行い、ロールプレイやグループワークをしながら学ぶことで、里親と里子の関係性の構築や子どもの行動の背景にあるニーズに気づき、それに対応するスキルなどの専門的な知識を得て、それが確実な実践につながるような工夫がなされていました。

ファシリテーターが事前に里親宅を訪問して聞き取りを行ったり、毎回の振り返りや里親からの評価のフィードバックなど相互性のあるプログラムとなっていることから、里親の参加、継続率が高いとのこと。里親自身の自尊感情や自信を回復するという支援者支援の観点が含まれていることも特徴です。

ちなみに、福岡市の2022年3月時点の里親委託率が59.32%であるのに対して、群馬県は24.3%（それでもここ数年でかなり増えたのですが…）

福岡市は児童養護施設が少なく家庭養育の推進に重点を置いているのに比べて、群馬は児童養護施設が充実しているという社会的背景の違いはあるものの、里親委託の推進に向けて「フォスタリングチェンジ・プログラム」や里親ショートステイの取り組みなど、ぜひ取り入れていきたいですね！

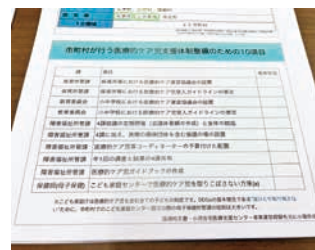
SOS子どもの村JAPAN



2日目 県外調査2日目、午前中は【熊本県医療的ケア児支援センター】にお邪魔しました。

熊本県では全国に先駆けて2016年から熊本大学病院内に小児在宅医療支援センターを開設し、保育所や学校への入園・入学支援、関係者の人材育成などの医療的ケア児の支援を実施してきましたが、今年の4月からは熊本大学病院を医療的ケア児等支援法に基づく【医療的ケア児支援センター】として指定し、二枚看板で医療的ケア児とその家族が地域で安心して暮らせるよう、相談対応や地域支援体制の充実に取り組んでいるとのこと。

支援のポイントは4課連携。



保健師(母子保健担当)、保育所管課、教育委員会、障害福祉が連携して支援体制を整備することが大切で、市町村が医療的ケア児等コーディネーターの配置や、就学・入園支援、看護師育成などを行う際に、各機関を切れ目なくつなぐ包括的な役割を熊本県医療的ケア児支援センターが担っているそうです。

法律上の根拠に基づく支援センターとして位置付けられたことで、今までよりも市町村への働きかけがしやすくなったものの、医療的ケア児等コーディネーターが配置されている市町村は6市町村に留まっており、市町村によっては思うように体制整備が進んでいないのが課題で、市町村向けの研修会や各医療県域ごとの看護師のスキルアップ研修などにも積極的に取り組んでいるとのこと。

医療的ケア児支援センターは今年度中に39の都道府県で開設される予定で、群馬県としても早期の設置を目指したいところ。(現状では保護者が相談先を見つけにくかったり、窓口でたらい回しにされたりするケースもあります…)

母子保健、障害福祉、保育、教育、そして就労まで、県と市町村が責任を持って支援できるように、先進県の取り組みを群馬でもしっかりと活かしていきたいです！



2日目 午後 2日目の午後は、佐賀市の【特定非営利活動法人それいゆ】にお邪魔し、発達障害児やその家族への支援活動について調査しました。

発達障害は、早期に発見し療育を受けることで、障害特性からくる困難を回避、軽減できるといわれています。

佐賀県は発達障害児者に対する支援の先進県で、乳幼児期～学齢期～成人期と、生涯にわたってきめ細やかで途切れのない支援が受けられるような体制が整えられています。(それいゆさんは、県や市町から委託を受けて、早期発見、早期療育事業や学校生活支援、専門相談、移行支援、就労支援などを行っている発達障害に特化した支援機関です。)

特に自閉症等のスクリーニングに力を入れていて、市町が実施する1歳半児、3歳児健診においてスクリーニングに使用する独自の二次問診票を開発。併せてスクリーニングに従事する市町の保健師さんの研修会を開催して、保健師の質を確保することで、精度の高い早期発見に繋がっているとのこと。(市町の保健師さんのレベルアップには20年前から取り組んでいるそうです！)

そして、スクリーニングの結果、支援が必要とされた児童の親に対して親カウンセリングや相談会を実施し、子どもの発達障害に向き合う心理的なサポートを行い、親カウンセリング後は、発達障害に特化した早期療育事業として、1人につき10回の療育指導を実施しているそうです。

早期発見後のカウンセリングや療育事業体制がしっかり整えられていることで、保護者はもちろん、市町の保健福祉担当も安心して支援に取り組むことができ、発達障害の診断にもつながっているとのこと。

また県の発達障害者支援センター以外にも、発達障害の専門窓口を7市に設置していて、県内どこに住んでいても同じ支援が受けられるような仕組みが作られているのも特徴的。市町の保健師等の育成もそうですが、特定の機関だけでなく、各地域の支援力を高めているのが素晴らしいと思いました。

群馬県でも全県的なボトムアップを目指していきたいですね！



特定非営利活動法人
それいゆ



3日目 最終日は、佐賀県がJAXA(宇宙航空研究開発機構)と連携して昨年から実施している【JAXAGA SCHOOL】の取り組みについて調査しました。

【JAXAGA SCHOOL】は、宇宙や地球、佐賀を題材とした宇宙教育を通じて子どもたちの想像力、思考力、判断力、表現力を育み、未知へチャレンジする心を育成することを目的としたプロジェクトです。



小中学生は8か月・全8回のカリキュラムでJAXAの講師による座学や科学実験・工作、フィールドワークなどを行い、高校生は2年間で超小型人工衛星(キューブサット)のフライトモデルを製作し、実運用に提供できる人工衛星として完成させることを目指した活動を行っているとのこと。

(宇宙教育なので、特に小中学生の部で行っている内容は宇宙少年団(YAC)の活動内容とほぼ同様ですね！)

人数制限があるので、参加できない子どもたちの受け皿はどうなっているのか、スクール卒業後のアフターフォローはどのように考えているのか、佐賀県内の宇宙少年団(YAC)との連携はしていないのか、高校生の部は地元の企業との連携や就職に繋がる仕組みがあると良いのではないか、など活発な質疑が交わされました。

宇宙をテーマにした県立科学館があったこと、現在の知事がJAXAの理事長と知り合いだったこと、宇宙科学館の館長さんが元JAXAの職員であったことなど、JAXAGAプロジェクトのきっかけとなる要素が揃っていたこともあります。子どもたちに本物体験をさせたい(ゆくゆくは佐賀県から宇宙飛行士やノーベル賞受賞者を誕生させたい)というトップの強い思いを感じました。

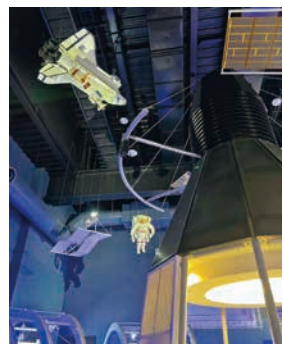
群馬県でも自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人＝「始動人」を育成するための教育イノベーションを推進していますが、事業によっては高額の参加費用がかかり、参加のハードルが高いものもあります。

一人ひとりの好奇心や冒険心に火をつけられるように、誰もが学べる環境を目指していきたいですね！

JAXAGA
SCHOOL



佐賀県立
宇宙科学館



選挙区等の検討を続けています！

群馬県議会では、国勢調査の結果が出るたびに選挙区の定数・区割りを検討していますが、人口比では本来是正をしなければいけない状況にもかかわらず、この8年、現状維持となっています。

※一票の格差が最大2.41倍まで開いており、私の所属するリベラル群馬は人口比例を尊重しながら人口の少ない周辺部へ配慮する観点から合区を検討すべきという意見を申し上げましたが、他会派が全て現状維持を主張したため、今回も見送りとなってしまいました。



定数や選挙区等のあり方について継続的に幅広く検討を行う必要があるため、先進県の状況を調査しました(2022.12.12～13)。

■ **三重県議会**では、県議会で定数を減らす条例案と増やす条例案が連続で可決されるなど議員定数削減や区割りをめぐり、議会内でこう着状態が続いたことから、第三者機関を設置して、定数や選挙区のあり方についての調査報告を求め、第三者機関の報告をもとに議長案を作成し、定数を3減、4つの選挙区で区割りの変更が行われました。

第三者機関の意見では、選挙区の議員は原則として人口比例とすること、1人区が発生した場合、合区により回避するよう努めることなどが提言され、1人区は無投票となりやすく、民主的正統性や多元的代表制が確保しづらいというところが強調されている印象。

ちなみに、三重県議会は15選挙区中、1人区は1つ。群馬県議会は19選挙区で1人区は7つもあります。前回の選挙では1人区のうち4つ、2人区のうち2つが無投票でした。



県議会の豆知識



議会内部の検討では、それぞれの利害関係から定数や区割りの話が進みにくいので、群馬県でも外部の第三者機関は是非設置したいところです。

■ **滋賀県議会**では、滋賀県議会基本条例及び会議規則に基づき、全会派から選出された議員による議員定数検討委員会を設置し、選挙の度に定数や区割りの見直しを行っています。

今回の見直しでは、令和2年の国勢調査の結果、人口が増加していることから定数を増やすべきという意見も出た一方で、今後の人口減少の推移などに鑑みると定数は現状維持が適当とされました。

選挙区の区割りも現状維持(過去の見直しで合区等が進められているため)。

選挙区別の定数については、住民の多様な意見を反映させるために1人区を増やさないこと、一票の格差が最小となる組み合わせを選ぶこと、人口比例の例外(ただし書きの適用)は最小限度にとどめることをポイントに、1人区を避ける内容で、定数の増減が行われました。

ちなみに滋賀県の1人区は13選挙区中、1つです。



◆ どちらの県議会も1人区を避けることを重視しているのが印象的ですが、群馬県議会では過去の見直しですでに1人区が増えてしまっているため、これを解消するには人口がさらに減って強制的に合区になるまで待つのか、積極的に任意の合区を進めていくのかを検討する必要があります。

いずれにしても、せっかく先進地のお話を伺ったので、その内容を取り入れて、群馬県議会でも定数・区割り検討をしっかりと前に進めていきたいですね！

(リベラル群馬としては、引き続き人口比例を尊重しながら人口の少ない周辺部へ配慮する観点から合区を検討すべき!という主張を続けていきます)

第1回正座しなくていい上毛かるた大会

ココフリ群馬(群馬バリアフリー観光情報局)主催の【第1回正座しなくていい上毛かるた大会】に県議会有志チームで参加しました♪

車椅子で絵札の上に乗ると札が獲得でき、10枚先取したチームが勝ちというルールです。

車椅子の操作を覚えながら、絵札を探してぐるぐるぐるぐる…どの試合も大盛り上がり！

私たちは優勝チームと1回戦で当たってしまったので、早々に退散となりましたが、車椅子の人も普段車椅子を使わない人もみんなで一緒に楽しめる素敵なかると大会でした！

たくさんの人に知っていただき、みんなで楽しめるユニバーサルな遊びとして今後も続けていきたいですね！



ココフリ群馬



群馬県障害者芸術文化活動支援モデル事業【take the first step 障害者芸術活動支援プログラム】(2022.10.8)

令和4年第2回定例会の一般質問で、障害者の芸術文化活動の推進やアートセンターの設置を提言しましたが、アートセンターの設置に向けたモデル事業がいよいよ始まりました♪

第1弾は【森のペイントワークショップ in ルオムの森】NPO法人あめんぼさんの企画で、森に設置した素材や牧草ロールをキャンバスに自由に描いていくワークショップ。障害のある人もない人も、誰でも自由に一緒にアートを楽しめます。

大自然の中で、大きなキャンバスに向かうのはとっても気持ち良さそう！描く内容も大胆になりますね♪楽しそうな笑い声と笑顔があふれる素敵な1日になりました。

ルオムの森のワークショップでは、ペイントの他にも、ドラムサークル(打楽器体験)や、手ぬぐい染め体験も実施。2階のギャラリーでは【なかんじょアートミーティング】の展示会も開催されました。

障害者アートセンターはすでに39都道府県で設置されて

ちなみに、かるたの裏面には、ココフリ群馬の皆さんが調査してくれた絵札の場所に関するバリアフリー観光情報が記載されています。設備や工夫されている点、気をつける点、感想が細かく整理されていて、めちゃくちゃ分かりやすい！ココフリ群馬さんのHPには県内のバリアフリー情報や今回のようなイベントのご案内などが掲載されているので、是非ご覧ください。

NPO 法人あめんぼ



活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|---|
| 8月 25日 総務企画委員会月一常任委員会 | 11月 3日 ぐんまマラソンボランティア |
| 8月 27日 講演会 | 11月 4日 熊野神社西の市 |
| 8月 31日 ひきこもり講演会 | 11月 5日 宮城地区文化祭、フラワーパークコンサート、消防団夜間訓練 |
| 9月 3日 茂木紘一ガラス絵展 | 11月 6日 古市町フェスタ |
| 9月 6日 ～8日 子育て・障害者支援に関する特別委員会 | 11月 7日 ～8日 福島第一原発視察 |
| 9月 10日 宇宙少年団前橋分団(講師例会) | 11月 9日 後援会ゴルフコンペ、中央大学白門会高崎支部講演会 |
| 9月 11日 県政報告会、うどんイベント | 11月 11日 群馬県児童生徒木工工作コンクール |
| 9月 12日 前橋市社会教育委員会、前橋商工会議所・女性会講演会 | 11月 12日 前橋市農業まつり、東公民館文化祭、下川淵公民館文化祭 |
| 9月 14日 「こどもの視点」展 | 11月 13日 温泉ガストロノミー |
| 9月 15日 議会運営委員会、恵風理事会 | 11月 16日 地域ふれ愛販売会、青少年と未来をつなぐ教室(箱田中) |
| 9月 17日 総合型地域スポーツクラブ講演会、宇宙ワークショップ、前橋JC9月例会 | 11月 17日 連合前橋地協・定期大会 |
| 9月 20日 議会運営委員会、本会議(開会) | 11月 19日 ぐんまフランス祭り、すてっぷんま犯罪被害者オンラインセミナー |
| 9月 23日 車いす上毛かるた大会 | 11月 22日 オールインスポーツクラブGG大会 |
| 9月 26日 ・28日～29日 一般質問 | 11月 24日 議会運営委員会、本会議、ぐんま女性議員政策会・知事要望 |
| 10月 1日 オールインスポーツクラブ・GG大会 | 11月 26日 JC群馬ブロック全体会議 |
| 10月 2日 室沢棚田サポーター倶楽部(草刈り) | 11月 27日 ぐんまロカレ県庁写真展、富岡恵美子弁護士50年を祝う会 |
| 10月 3日 総務企画常任委員会 | 11月 29日 ～30日 一般質問 |
| 10月 4日 総務企画常任委員会 | 12月 2日 一般質問、ハートフルアート展 |
| 10月 6日 子育て・障害者支援に関する特別委員会、選挙区等検討委員会 | 12月 5日 本会議 |
| 10月 8日 前橋祭り、障害者アート | 12月 6日 総務企画常任委員会 |
| 10月 9日 鬼石スカイランタン | 12月 7日 総務企画常任委員会 |
| 10月 10日 新前橋ロータリー祭 | 12月 9日 子育て・障害者支援に関する特別委員会、前橋市農業委員会農政懇談会 |
| 10月 12日 本会議、ぐんまグッショブフェア | 12月 10日 前橋地協女性セミナー、前橋JC卒業例会 |
| 10月 13日 議会運営委員会、本会議 | 12月 11日 古市町ミニ朝市 |
| 10月 16日 宇宙少年団前橋分団(エッグランディング)、サスバ試合観戦 | 12月 12日 前橋市社会教育委員会議 |
| 10月 17日 決算分科会 | 12月 13日 議会運営委員会、リベラル群馬知事要望 |
| 10月 18日 決算分科会現地調査 | 12月 14日 本会議(閉会) |
| 10月 21日 一般質問 | 12月 16日 湯けむりフォーラム |
| 10月 25日 三輪道途個展 | 12月 19日 中部農務事務所意見交換会 |
| 10月 26日 決算総括質疑 | 12月 20日 連合議員懇・総会・学習会 |
| 10月 28日 議会運営委員会 | 12月 22日 ～23日 選挙区等検討委員会県外調査 |
| 10月 29日 マエバシブックフェス、連合群馬・定期大会 | 12月 24日 宇宙少年団前橋分団クリスマス例会 |
| 10月 30日 前箱田町文化祭、ソノリツサ訪問 | 12月 28日 消防団歳末特別警戒激励 |
| 10月 31日 本会議 | |
| 11月 1日 ～2日 議会運営委員会・県外調査 | |



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



【10月6日は世界脳性まひの日】

投稿日：2022年10月6日

【世界脳性まひの日】は2012年から始まった世界規模の運動で、多くの人に脳性まひについて知ってもらい、ノーマライゼーションを推進することを目指している取り組みです。脳性まひは、お母さんのお腹の中にいる間から、生後4週間までの間に発生した脳への損傷によって引き起こされる運動機能の障害で、乳児1000人のうち1～2人に起こると言われています。脳の損傷部分や範囲は一人ひとり違うので、障害の程度や種類も一人ひとり全て違います。一般的にはあまり知られていない「脳性まひ」と「世界脳性まひの日」を広めようと、一般社団法人 Get in touchの皆さんが「世界脳性まひの日～ Warm Green Day～」として様々な企画を実施しています。この機会に、脳性まひについて理解を深め、誰もが自分らしく輝ける社会について考えてみませんか? ^^

公式サイト



プロモーション動画

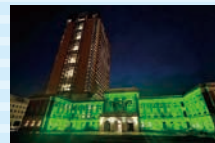


【GET THE GLORY!
～ Warm Green Day～】

ROGUEの奥野敦士さんの歌声にのせて素敵な笑顔がたくさん登場する動画です。是非ご覧ください。

グリーン
ライトアップ

群馬県内では昭和庁舎、グリーンドーム、臨江閣がシンボルカラーのグリーンに染まりました!



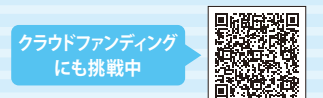
小児医療センターにキッチンカーがやってきた♪

投稿日：2022年11月10日

小児医療センターにキッチンカーがやってきた♪【fufufu-soup】入院付き添いのママパパや医療スタッフの皆さんを応援するためにキッチンカーで温かいごはんを届けたい!という青木さんの思いが実現し、群馬県立小児医療センターの駐車場の一角に【fufufu-soup】のキッチンカーがやってきました♪【fufufu-soup】の握りたてのおにぎりや温かいスープを求めて行列ができていて、青木さんの応援に駆けつけてくれたお友達も多数。ママパパや病院のスタッフを応援したいという青木さんと、その青木さんを応援したいというお友達と、誰かが誰かを応援して、みんなが繋がって笑顔になって、優しい気持ちが循環するとても素敵なランチタイムになりました。

提供の時間や注文の取り方、食材の準備など改善するところは沢山あるけど(これもチャレンジしたからわかることですね!)第1回目としては大成功だったんじゃないかな、と ^^

今後の活躍も期待しています♪
(※現在は毎週水曜日に店出しています)



クラウドファンディング
にも挑戦中



サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、
群馬弁護士会へ登録。
2011年・群馬県議会議員(初当選)。
現在3期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

